



人形劇観劇（もも組～白組） 13日(木)

人形劇団『バク』の皆さんによる人形劇を観ます。お話は“人魚姫”。みなさんお馴染みのアンデルセン童話です。



七五三パーティー 10日(月)

3歳、5歳、7歳は子どもの成長の節目といわれますが、そのときを健やかに過ごせたことを喜び、お祝いをする行事が「七五三」です。千歳飴は江戸時代に江戸の浅草の飴屋が考案し、長生きするよという意味で細長くつくられているそうです。

保育園では、“たくさんの人に見守られて大きくなった”ことへの感謝の思いと“みんながいつまでも元気で幸せに”という願いをこめて、バイキングスタイルでの給食をいただき、お祝いします



勤労感謝の日 11月23日

勤労感謝の日は、昭和23年に「勤労を尊び、生産を祝い、国民がお互いに感謝し合う日」として制定されました。よりよい社会を実現するためには、人間はお互いの勤労によって生活していること、お互いに感謝し合わなければいけないということを知らせて、子どもたちにも、小さいながらもお手伝いをしようという意欲を持たせることが大切です。

一粒のご飯、一本の鉛筆、一枚の紙も、みんな人間の尊い勤労によってつくられたものです。汗を流して働くことが、人間にとって幸せなことだということを伝え、ものを大切に扱う心を養っていきたいと思っています。



平成26年 11月の園だより



「やる気」のある子に

10月の中ごろ年長児が芋ほりに行きました。今年の芋は日照不足で、例年になく小ぶりでしたが、子どもたちは自分たちの掘った芋を大切に持ち帰っていました。家族で食べるには少なすぎたことと思いますが、ご家庭ではどのようにこの芋をお料理されたのでしょうか？

園では数週間後に残った芋で焼き芋パーティをしましたが、食べている年長児に主任が「おいしいね、みんなが植えて育ててくれたから、こんなにおいしくなったんだね」と話すと、それまでもぐもぐ食べていた子どもたちの顔が一度に輝き、手伝いに来ていた乳児組の保育士から、「桃組さんや赤ちゃんも、おいしい、おいしいといっぱい食べていたよ、みんなありがとね」と言われると、更に嬉しそうな顔でお代わりを重ねていました。自分が役に立ったことが認められ、感謝される快感が子どもたちの次の「やる気」につながったことでしょう。

「不登校」や「若者の引きこもり」、「うつ」などが便利な社会生活と比例して増えています。

これらの症状は、私の子どもの頃はある種の精神的障害を持つ人以外には見られませんでした。当時の子どもたちは大勢で遊び、家では炊事や風呂炊き、兄弟の世話など手伝わされていて、家庭の中に自分の存在する場所があったからだと思います。

現在は電気製品にかこまれ、食事の支度もコンビニの袋を開けるだけで済むなど便利になりましたが、その反面、家庭が食べて寝るだけのホテルのようになり、家庭の中に自分の存在感がない子や、会話不足から「聞く」「話す」力が充分でなく、自分の気持ちがうまく伝えられないところから、外にでも仲間集団にとけこめず、コミュニケーションに悩んだり、相談相手もないところから、ちょっとしたことで不登校やうつになりやすくなっているのでしょう。

まだ、「不登校」や「引きこもり」などは私たちの周りでは一部に見られる現象ですが、せつかく生まれてきてくれた子どもたちが、元気にたくましく生きてゆく原点は、乳幼児期の大人の関わりが大きく影響します。

子どもが親をひたすら求めるのは生後10年あまり、その中でも生後5年間が一番親の影響を受けるときです。可愛がることや話しかけること、笑顔で見つめてあげること、ほめること、時に悪いことをしたときは叱ってあげること、全てがその子の成長につながります。元気であることを当たり前と思わず、毎日話を聞き、何か良いところがあればほめてあげ、あなたがいると楽しいよと声をかけていると、お子さんの「やる気」は大きく育ってくれることでしょう。

園長 松尾龍一

がまんがまん
ゆっくり聞こうね
子どもの言い分



自立へ向けて、懸命に自分を表現しようとしている子どもの主張。なのに押さえつけてしまいそうな私…。

でも、ちょっとだけ深呼吸してみてください。とっても大切な、大切な言い分ですよ。

「子育てルネッサンス運動」
社団法人全国保育園連盟 子育てメッセージ



段原みみょうフェスティバル

日時：11月9日(日)
10:00~14:00
場所：みみょう幼稚園
段原みみょう保育園

作品展示や、いろいろな楽しいお店が並びます。ご近所の皆様お誘いのうえ、どうぞ楽しいひと時をお過ごしください。

ちいさな火が、おおきな火に！



広島市南消防署
警防課 救助係